



# YAMATO-NAKA ROTARY CLUB

1601号

会 長 石川健次 会長エレクト 横澤 創  
副 会 長 古都 清 幹 事 橋本日吉  
会報委員会 松崎正実 中島康次郎 阿萬正巳  
例 会 場 八千代銀行 大和支店 4F (毎週木曜日)

事 務 所 大和市大和南2丁目1番1号  
大和中央ビル 301  
TEL 046-262-1717 FAX 046-262-1818  
E-mail: naka-rc@jcom.home.ne.jp  
URL: http://www.ynrc.jp

## 国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」  
RI 会長 カルヤン・パネルジー

## 大和中ロータリークラブ会長ターゲット

ロータリーをもっと楽しむために、  
ロータリーをもう一度見直そう！

【本日のプログラム】 11月24日卓話「前年度地区出向者報告」横澤直前地区会計・古郡直前地区資金委員長  
【次回予告】 12月1日 年次総会 及びインスピレーションスピーチ

【第1596例会】 11月10日(木) 【司会SAA】 鈴木 洋子 君【斉唱】「君が代」「我らの生業」  
【ソングリーダー】 北島 照介 君【ゲスト】 山田 雅孝 地区R財団副委員長

## 会長の時間 石川 健次 会長

### ①高橋政勝会員叙勲の件

平成23年秋の叙勲で「瑞宝双光章」を受章されました。特定郵便局長として長年に渡り職業奉仕を続けられた賜物です。おめでとうございます。

### ②ロータリー財団月間について

クラブにおける日々の奉仕活動とは別に、ロータリー財団が世界理解・親善・平和を達成するためのポリオプラス・教育的プログラム・人道的補助金プログラム等多数の実績と行動により、地域社会や世界で私たちロータリアンは高い信用と信頼を得られています。

今月はロータリー月間ということで、地区よりロータリー財団副委員長・未来の夢計画委員長の山田様にお出で頂きました。昨日も財団のセミナーに出席してまいりましたが、2年後には、ロータリー財団への寄付金が地区とクラブにとってより身近になる「未来の夢計画」が動き出すそうです。

財団月間ということで、小柳委員長も頑張っておられますので、よろしかったら趣旨ご理解の上、ロータリー財団プログラムにご参加とご支援をお願いします。

### ③ 姉妹クラブについて

ご案内の通り、11月17日(木)には 姉妹クラブ

の東慶州RCメンバーとご家族が31名で訪日されます。昨年のガバナーズクラブとして臨んだ地区大会にも、東慶州RCには姉妹クラブとして鄭 鉉末(チョン ヒョンマル)会長以下、多数の出席をして頂きました。

訪日に当たり、当初は先方から大和中RCとの合同例会をしたいという提案がありましたが、その後の旅行の行程上、大和には来られないことがわかりました。

そのため大和中RC会員有志 13名で大阪に出向き、親睦を深めるための歓迎懇親会をすることになりました。そういうわけで、次週の例会は「休会」とさせて頂きました。

例によって、クラブ予算や参加会員の個人負担をある程度はお願いしなければなりません、できるだけ無駄使いをしないように心がけてまいります。

今回、企画をして頂きました国際奉仕委員会には、姉妹クラブ担当も設置していますので、東慶州RCとの交流は重要な委員会活動でもあります。

姉妹クラブとの交流については色々なご意見があることは十分に承知しておりますが、大和中RCと東慶州RCとは「公式に姉妹クラブ締結」をしていますので、どうぞご理解をお願いします。

| 会員数 | 出席者 | 出席率    | 前々回修正  | 出席免除 | 欠席者 5名(敬称略)    |
|-----|-----|--------|--------|------|----------------|
| 36名 | 28名 | 85.29% | 78.13% | 6名   | 引田、中西、舘盛、山崎、梅野 |

## 幹事報告 橋本 日吉 幹事

- ①本日例会終了後、第5回理事役員会を開催いたします。ご出席宜しくお願いします。
- ②本日18時半より岩手屋にて第6G会長・幹事会が開催されます。出席してまいります。
- ③先週11月3日、2011～2012年度指名委員会が開催されました。
- ④来週17日は、東慶州RC訪日の為、取り止め例会となりますので、お間違いのない様お願いします。

## 委員会報告

### 雑誌委員会 中島 康次郎 委員長

RI会長メッセージの【価値を決めるもの】という題で「ロンドンタイムズ」の論説が取り上げられており”他の人々と分かち合うこと”、“人々の生活を変えるロータリー財団”は特に印象に残ったと書かれております。

また縦組み巻頭の「夢を諦めずに――」最後の沖縄県民みんなで勝ち取った優勝旗まで楽しく読ませていただきました。皆様もご一読宜しくお願いします。

### お祝いの方々 親睦活動委員会



### 岸 幸博 委員長

|        |         |        |
|--------|---------|--------|
| 配偶者誕生日 | 梅野 義信 様 | 11月21日 |
| 結婚記念日  | 阿萬 正巳 君 | 11月10日 |
|        | 山崎 賢二 君 | 11月18日 |
|        | 橋本 日吉 君 | 11月21日 |
| 創業記念日  | 橋本 日吉 君 | 11月13日 |
| 入会記念日  | 梅野 房子 君 | 11月10日 |

## R財団月間卓話

### 「R財団月間にあたり」

#### 卓話者プロフィール

山田雅孝様 平塚西RC (株)へいあん(取締役会長)  
生年月日:1943年6月18日  
1975年平塚西RC入会 1986～87年度平塚西RC会長  
1996年～地区GSE委員長はじめ地区役員を歴任  
2010年～11年度 地区ロータリー未来の夢計画準備委員  
2011年～12年度 地区ロータリー財団副委員長、  
R財団 未来の夢計画委員長

## 「未来の夢計画への移行について」

### 山田 雅孝 地区R財団副委員長



本日は、財団月間卓話としてお招きを頂き誠に有難うございます。分かり難い、何をすべきかが見えないなど、あまり前評判の好くない「未来の夢計画」であります。事業経営者の立場でご覧頂くと、興味深いものがあるかもしれません。

組織の衰退は、内向きで外部環境に無関心なときや、価値観が時代に合わなくなったときに、その組織の存在価値が失われるといわれています。今まさにRIの戦略計画は「より存在価値のあるロータリーを目指し動き始めました。同様にR財団も「Future Vision Plan」所謂「あるべき姿、望ましい「明日へのR財団」を目指し、その手法を大きく変えようとしています。

本題に入ります。『地域の人々の生活を改善したいという情熱を社会に役立つ活動に注いでいる、献身的な人々の世界的ネットワーク』というロータリーの中核となる価値観の下で、人道的奉仕の重点化と増加、それも6つの重点分野を中心として、他団体との協力やつながりを深め、地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを創造すること。それは、ロータリーの公共的イメージと認知度の向上を目指しているからです。

今までと大きな違いは、『寄付さえすれば責任を果たした』では済まないことで、使命を果たすためには、自らの行動を伴ったプロジェクトの推進が必要です。手法は変わっても「ロータリーの綱領」や「RIの使命」は変えてはなりません。

RIの使命は「他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職務および地域社会のリーダーの間の親睦を通じて世界理解、親善、平和を推進すること。」

◆財団の新しい標語は「世界でよいことをしよう」

◆財団の使命は「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」

この20年間、人道的ニーズや教育的ニーズに取り組むために、R財団からの支援に頼る傾向が強まっています。

ロータリアンからのR財団への惜しみない寄付が増えると同時に、人道的・教育的ニーズへの取り組み方法が数多く提案され、R財団は新しいプロ

グラムを提供してきました。しかし、優れた功績が国際的に認知されたのは、ポリオ撲滅活動でした。

一方、教育的と人道的プログラムは、活動が増えすぎ、大きな影響と持続可能な成果をもたらすことが難しくなると同時に、補助金申請数の増加に伴い、手続きが複雑になり、効率も悪くなりました。

経験から学んだ教訓を生かした大きな変革により、もっと発展していくべきだ、という要望が聞かれるようになりました。そこで、未来の夢計画は、次のような視点で纏められています

- ・これは、R財団の長期計画です。
- ・財団がクラブと地区に補助金を提供する新しいアプローチです。
- ・ポリオ・プラス、保健・飢餓追放・人間的尊重(3H)補助金、国際問題研究のためのロータリー・センターなどに見られる財団プログラムのこれまでの成果に基づき発展させる方法です。
- ・地区レベルとクラブ・レベルにおける財団活動を担当する委員会の新しい構成と組織方法です。

調査や座談会に参加した世界中の何万人というロータリアンからの意見を基に、未来の夢計画の目的は、以下のように定められました。大きなクラブ・プロジェクトの成果を受益者にもたらすために

- ・補助金活動全般の焦点を絞る。
- ・これまで以上に決定権を地元委ねる。
- ・財団資金とロータリーの資源を最大限に生かすため組織レベルで他団体と協力する。
- ・補助金手続きを迅速に処理するために、R財団を簡素化する
- ・地元と海外におけるロータリーの認知度と公共イメージを高める

未来の夢計画が始まる、2013年度以降においては、DDFを使う現行プログラムの殆どは廃止され、各クラブの意向を集約した当地区の新方針が決まったので、早急に取り組みの準備を開始する必要があります。

まず各クラブにおいて「私たちのR財団である」という意識が必要で

#### 新地区補助金について

新地区補助金では、裁量権が大幅に地区レベルに移行され、柔軟になります。地元や海外での小規模な活動やプロジェクトに対し、地区にまとめて支給され、財団の使命に沿った活動に使用されます。

#### 当地区における補助金申請の手順

プロジェクトの提案書提出期間は実施前年度の12月1～15日に、申請書は2月11日～末日に受け付けます。(募集要領は2012年3月までに広報の予定) クラブへの補助金の支給は7月以降です。

財団本部への報告書を作成するために、クラブから「プロジェクト終了報告書」並びに「事業の評価書」を提出して頂きます。

#### グローバル補助金について

グローバル補助金は、長期的で持続可能なプロジェクトに授与される補助金で、重点分野の1つに該当すること。最低15,000米ドル(総予算30,000ドル)以上の比較的高額なプロジェクトであることです。

地区財団活動資金(DDF)に対し同額がWFから出ます。また、現金拠出に対しては50パーセントが上乗せされます。パッケージ・グラントは、100パーセント、国際財団活動資金(WF)で賄われます。

#### 持続可能性等の適用条件について

財団資金に基づくプログラム終了後も、プロジェクト計画が持続されること。

地元のリソース、地域内の考え方や意見、現地の人々の知識を活用すること。

天然資源基盤を大切に、現地の環境を悪化させたり、破壊したりしないこと。

適宜、最大数の人々に恩恵を与えること。

財団の重点分野に関連する職業分野で、奨学生やその他の人々が画期的な新手法に貢献できるようにすること。

参加者が活動を行っている地域社会や職業で大きな影響をもたらす、効果を高められるようにすること

ロータリー地域社会共同隊など、草の根の人々や団体の意見やスキルを生かし、プロジェクトと活動の継続性を図ること。……などの条件があります。

財団は、クラブや地区が立案した持続可能で大規模なプロジェクトに対し、資金を上乗せして援助します。また、パッケージ・グラントという形で、管理委員会が指定した、既成の活動にクラブと地区が参加するための資金を全額支給することもできます。

#### 六つの重点分野

- 1.平和と紛争予防・紛争解決
- 2.疾病予防と治療

- 3.水と衛生設備
- 4.母子の健康
- 5.基本的教育と識字率向上
- 6.経済と地域社会の発展

未来の夢の主な目的は、ロータリアンが実施するプロジェクトと活動の影響力を高めることであり、受益者に大きな影響を与えるプロジェクトを開発ができるようになります。こうしたプロジェクトは、ほかのクラブや地区と協同で実施されます。

未来の夢は、2種類の補助金に限定します。財団は、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームの派遣と受入れに対して、同じアプローチを用いて資金を支給することができます。また、補助金の報告要件も合理化される一方、補助金支払いプロセスが早くなります。事前の研修、改善された地区委員会構成、明確な資金管理、電子送金による支払いといった方法を積極的に導入することで、補助金申請書の提出時から補助金支給までにかかる時間が短縮されます。

#### プロジェクト計画の キーポイント

R財団の資金を利用する全てのプロジェクトは、ロータリアンが管理します。

各補助金は、3名のロータリアンから成る委員会を設置し、この委員会のメンバー全員が役割と責務を分担します。

利害関係がある会員は、この委員会に任命すべきではありません。

計画の立案は、測定可能、持続可能、達成可能な目標を設定することから開始します。

・現地について最新のデータを集めます。このデータに基づき、測定可能なプロジェクト目標を立てます。

・補助金が全て使用された後、プロジェクトがどのように継続、維持されていくかについても検討します。

物資の購入と配布、建設、研修をはじめとする活動の詳細と予定時期を決めます

詳細な予算と予定表を作成します。

プロジェクトに関する賠償責任を考慮し、クラブを法的に保護する手配を整えます

補助金の関連書類を保管するシステムを定めます。

#### ニーズ調査キーポイント

プロジェクトを成果の大きなものにするには、地域社会に実在するニーズを取り上げることが重要です。

ロータリアンは、地域社会が何を必要としているかを知るために、地元のさまざまな人々の協力を得る必要があります。

ニーズが分ったら、クラブおよび協力の可能性のある団体が持つリソースや、協力する意思があるかどうかを見極めた上で、どのニーズに取り組むかを検討します。協同提唱者(協力団体)には、ほかのロータリー・クラブ、地区、R財団、ロータリー以外の団体などがあります。

クラブが取り組むことのできる地域社会のニーズは何か、協力団体からどのような支援が得られるかに基づいて、プロジェクトを選びます。

#### DDFの地区配分方法

実行初年度2013-14年の財団活動資金(DDF)は約20万ドル。新地区補助金に50%の10万ドル、その内3万ドルは地区直轄事業に使用し、残額をクラブや共同チームに充当します。グローバル補助金もDDFとして10万ドルが活用できます。その内5万ドルは地区直轄事業に使用し、残額をクラブや共同チームに充当します。

1) 新地区補助金は地区に裁量権がありますが使える補助金には限りがありますので、どこに重点的配分するか決める必要があります。

①RIでは、人道的奉仕に重点を置くという方針がありますが、暫くの間当地区では特に定めないこととします。

②援助先の地域を地元地域社会と海外との比率も当面定めないこととします。

2) 同様にグローバル補助金も人道的と教育的奉仕の配分を固定しないこととします。

個々に割り振りますと、使える予算は非常に限りがあることに気付かれたと思います。

今までのR財団プログラムは既製品しかなく、毎年同じ繰り返しでもよかったのですが、これからは、すべてが手作りのメニューです。皆さんがやりたいことが決まると具体的にどのくらいの寄付が必要かも実感として湧いてくるでしょう。

試験地区が行った事例を紹介します。第2650地区は、2010-11年度新地区補助金を申請するようクラブに呼びかけ、補助金が承認。7月1日に財団から支払を受けた後、地区は直ちに42のプロジェクトに資金を分配しました。新地区補助金の申請過程で既に使用計画を作成済みであったため、申請や報告の手続きがスムーズに行われました。

この補助金で、フィリピンの村にコンピューター、ミシンなど、職業研修に必要なさまざまな備品を

提供し、地震被害の陝西省の小学校校舎修復プロジェクトも実施。奨学金を含むさまざまな地元地域に根ざしたプロジェクトも実施しました。

この地区では、未来の夢試験的プログラムに参加する以前は、多くのクラブが、様々なプロジェクトを実施できる新地区補助金の柔軟性をうまく理解できなかったそうです。しかし、「授与と受諾の条件」などを参照することで内容を理解し、未来の夢計画を支援してくれるようになっただけでなく、より多くの会員が活動に参加するようになったそうです。

#### グローバル補助金申請のステップ

重点分野に沿った大規模プロジェクトに資金を活用できるグローバル補助金は、クラブや地区がいくつかのプロジェクトを1つの申請書で申請できるという利点があります。人道的奉仕プロジェクトと職業研修チームを組み合わせた1つのグローバル補助金を申請することができます。グローバル補助金申請は1年中いつでも申請でき、計画と準備に柔軟性が与えられています。

クラブがグローバル補助金を受け取るには、参加資格を満たしていなければなりません。

- A. 地区は、R財団の研修用リソースを用い、補助金管理および参加資格に関する研修を提供します。
- B. 地区は、R財団が定めている以下の最低条件を満たしている場合に限り、参加資格に関する独自の計画、条件、地区内クラブに参加資格を付与するための指針を設けます。
  1. クラブは、R財団が作成したクラブの覚書に同意し、署名する。

2. クラブ会長エレクト、またはクラブが任命した代表者が、補助金管理および参加資格に関する研修会に出席することで、「クラブの覚書」に署名し、財団や地区（該当する場合）が定めた要件を満たすための準備とともに、グローバル補助金を利用する準備を整えることができます。

クラブが資格を満たすには、クラブ会計が、地区ロータリー財団補助金管理セミナーに出席しなければなりません。これに加え財団は、可能な限り、以下の参加者の出席も奨励しています。クラブの次期R財団委員長または委員、次期クラブ幹事…などです。

未来の夢計画の試験段階は、新しい補助金モデルをさらに練り上げ、ロータリアンのニーズに合ったものに仕上げているとともに、使命を果たすために財団がリソースを最大限に利用していく機会です。

クラブからのご支援があれば、このビジョンは現実のものとなるでしょう。「ロータリーの未来はあなたの手の手に」あります。ありがとうございました。

#### 【石川 健次 会長 謝辞】

森DGによりますと、未来の夢計画は山田様が最もわかり易く説明して頂ける方と聞いておりました。実際に事業を開始してみないとどのような問題があるかわかりません。地区のサポートも万全ということですので、とりあえず検討したいと思えます。

山田様本日はありがとうございました。

#### スマイルボックス 横澤 創 委員長

本日¥19,000 累計¥369,200

#### 山田 雅孝 地区R財団副委員長

本日はR財団月間卓話にお招きを頂きありがとうございます。「未来の夢計画」を宜しくお願いします。

#### 石川 健次 会長・橋本 日吉 幹事

R財団副委員長山田雅孝様ようこそおいで頂きました。本日のクラブフォーラム「財団月間にあたり」宜しくお願ひ致します。

#### 高橋 政勝 君

この度、秋の叙勲で瑞宝双光章を授与されました。9日は授与式と皇居にて天皇、皇后陛下の拝謁をして参りました。皆さんのお陰です。感謝してスマイルをいたします。

#### 後藤 定毅 君

山田地区未来の夢計画委員長ようこそ我がクラブへお越し下さいました。R財団の変革期でお役目大変

ですが、宜しくご指導下さい。

#### 橋本 日吉 君

- ①創業記念日を祝って頂き、ありがとうございます。この厳しい経営環境を全社一丸で頑張っています。皆さんご指導宜しくお願いします。
- ②来る11/21結婚記念日です。32年目となります。マンネリ夫婦になりそうなので旅行にでも行って来たいと思っています。

#### 阿萬 正巳 君

結婚のお祝いありがとうございます。

#### 横澤 創 君

地区R財団、山田様、本日は宜しくお願ひ致します。昨日、地区セミナーでお話を伺い、未来の夢計画の概要を知りました。大変な改革ですね。今後もご指導をお願いします。

## 東慶州RC訪日 歓迎会

11/17(木)に姉妹クラブである東慶州RCの鄭 鉉末会長はじめ会員と家族ら36名が関西国際空港に到着されました。姉妹クラブ交流では毎回お世話になる金度縣会員が今年度ガバナー補佐に就任されていますが、多忙の中、今回の訪日にも参加されていました。

慶州市には現在14のRCがあり、東慶州RCの会員数は108名だそうです!新会員は今回の訪日に参加された5名を含めて、今年度は9名が入会されたそうです。

大和中RCからは会員有志の先発6名に元会員の長谷川清さんも急遽参加し、空港で一行を出迎えました。昼食後、大阪城を見学してから宿泊ホテルに着くと、合流した後発の8名の出迎えに大変に驚かれました。

国際奉仕と姉妹クラブ担当により大阪市内で設営された歓迎懇親会には、両クラブと通訳ガイドを含めて50名以上の出席となりました。盛況の中、日韓両国のRC事情などを話題に情報交換をしながら、その後の懇親会は大変な盛り上がりを見せました。

予定時間を大幅に過ぎた後も名残惜しさからか、場所を変えながら深夜まで懇親を深めた会員もいたようです。

翌朝には何事もなかったように平然とバスに乗り込み、次の目的地のユニバーサルスタジオジャパンに向かわれる姿を見送る際には、平均年齢50歳程という東慶州RCと大和中RCとの体力差をしみじみ感じました。

